

活動方針	具体的な事業・活動名	H30	H30年度までの取組状況	H31・R1	H31年度 of 取組み	R2	令和2年度 of 取組状
きれいなまちづくり	“ごみ”を捨てさせないようにする						
	① 皆で週1回交差点・バス停を清掃する。 ・各老人会で順番を決めて行う ・古市学区の全ての交差点に各団体の分担を決めて立つ。	※	・バス停の「ごみ入れ」撤去、ごみが散乱しなくなった。 ・清掃活動は、町内会・自治会、老人会で地区生活道路・水路清掃や門前清掃を実施している。	※	・清掃活動を引き続き、町内会・自治会や老人会で実施する ・PTAや老人会等地域の団体と1年生から6年生までの児童が地域の人々と交流を図りながら通学路の清掃活動を実施しする。 ・学校から3年生と4年生の児童で緑道公園の清掃活動を実施したらどうかというとの提案があり、実施日時等を検討する		JR古市橋駅周辺 明朗会 松原橋右岸下流付近 上古川町内会 ほか多数か所の清掃活動
	② 小学校とのふれあい清掃・・・回数を増やす	●	・PTA等各種団体が児童と一緒に年一回清掃活動を実施している。回数増には至っていない。	※	・地域の参加者を増やすことを検討する。		ふれあい清掃 年一回 継続
	③ 中学生と地域（老人会）で地域清掃・・・回数を増やす	●	・老人会が中心となり、中学校とボランティア清掃を実施しているが、回数増には至っていない。	※	・中学生とのボランティア清掃を実施する。 ・地域の参加者を増やすことを検討する。		10/29ふれあい地域清掃 年一回 継続
	④ 公園スタンプラリー 毎月1回、学区内の公園や施設の清掃を行い、参加者にスタンプを押し、貯まったらお菓子や商品に交換する。	☂	実施主体や財源などの課題があり実施していない。	●	・公園で総会や行事を行っている町内会がある。引き続き活用法等を検討する。		古市第一公園 月一回 オリプの会 古市第二公園 明朗会
	⑤ 安川・古川クリーン作戦、清掃イベント(川の清掃後、川の中を走るイベント実施)	●	清掃は町内会・自治会が中心となり実施している。イベントは川底に金属ネットがあり。危険	※	河川の清掃を通して、生態系を維持する重要性を理解する活動に取り組む。 青少協で例年8月に神田橋下で川の生態系を学習する「古川あそび隊」を行っている。 小瀬自治会で毎年1月に「とんど」を行い、地域交流や伝統行事の継続に努めている。		11/10 安川クリーン作戦 8/3古川あそび隊

活動方針	具体的な事業・活動名	H30	H30年度までの取組状況	H31 ・ R1	H31年度 of 取組み	R2	令和2年度 of 取組状
安心安全なまちづくり	近隣ミニネットワークづくり						
	① 一人暮らし・高齢者二人暮らしで見守りの必要な家庭をケアする。	※	・社協が希望者に救急医療情報キットを配布している。 ・包括が中心となり、「古市あんしんネット」を30年2月に創設。 ・行政が行う「避難行動要支援者品支援事業」に町内会・自治会が協力している。 ・民生委員が定期的に訪問し相談等に対応している。	●	救急医療情報キットの配布する。 「古市あんしんネット」について、町内会長・自治会長などが地域力発揮し、登録者を倍増する目標を掲げて、取り組む。 町内会長・自治会長が見守りカードを民生員に情報提供し、意見交換を行うことで、民生委員、登録者、町内会長・自治会長間の連携が図れ、登録者からも安心感が生まれる。		更新シート配布する。 毎月包括支援センターに報告を行っている。要支援者の対応で民生員と町内会長の連携が必要になる時期と要支援者の個人情報保護の観点から必要最低限の連携にとどまる時期がある。民生員とケアマネージャ間の意見交換と情報共有を実施している。
	② 隣近所・向こう三軒両隣で助け合いが出来るようにする。	☂	あいさつ運動の実施や祭りなどのイベントで交流を図っている。	●	祭り縄の取付けや片付けを隣人同士で行う等町内会・自治会の行事に積極的に参加できる仕掛け(顔を合わせる機会)が必要である。		鎮火祭・秋季大祭の実施 古市大町ふれあいまつり 昔遊びの会 毎年継続
	「見守り活動」「あいさつ運動」に関係している組織(人)のネットワークづくり						
	① 見守りパトロールの実態を把握し、調整する。	※	・学区防犯パトが月2回実施、須防犯パトが毎週実施している。	※	夜間パトロールの途中で、見守り登録者の自宅周辺の安全を確認する。 例えば、夏場は花火の後始末、冬場は、放火されそうな物の移動のお願い。		活動を継続している。
	② 見守り活動、あいさつ運動 (多くの人の参加体制作り)	※	・登校時の見守りは、青少協、民生委員、PTA、安全協会が実施している。 ・下校時は、通学路周辺の者が見守りしている。老人会で週一回見守りしている老人会がある。	※	・投稿・下校時の見守りは、危険を予測し、声掛けを行う。 - 自転車通勤、通学する者との接触事故、歩道をふさぐ、かけっこするような状態で登校・下校の注意		予定表により、周期的に活動 交通安全協会・民生委員・PTAほか声掛け運動を実施している。

活動方針	具体的な事業・活動名	H30	H30年度までの取組状況	H31・R1	H31年度取組	R2	令和2年度取組
ボランティアの創設	ボランティアバンクの設立 (集会所の二階に机と電話を設置し、当番で対応)	※	・古市集会所で週2回当番で受付している。 ・依頼は草取りや木の伐採で、過去に利用したものからの依頼が多い。 ・対応できない業務は、シルバーや専門業者を紹介している。	●	・一人暮らしの高齢者・障害者が利用しやすい取組を検討する。 (課題) ボランティアバンクが知られていない。 無料の為遠慮し利用しにくい。低価な価格の設定が必要か？ 業務の見直し・・買物や通院での交通		耐震工事予定
	① ボランティアコーディネーターの設置(研修)	●	・要望内容を円滑に行うため、地区別にコーディネーターを配置した。 ・ボランティア登録者を対象に研修会の実施を検討する。	●	ボランティア登録者を対象に研修会を実施する。		地域防災リーダーカレッジ参加 防災士 1名増
	② ボランティアの出来る人の確保(登録)	●	・登録者が高齢化している。 ・ボランティアの募集をカレンダーふるいちに掲載しているが、応募がない。	●	町内会長、自治会長などに地域内で特技を持った者を紹介してもらう等「人と人の繋がり」により人材を確保する。 引き続き、カレンダーふるいちで募集する。		
	③ ボランティアをして欲しい人の募集(受付)	●	・ボランティアの募集をカレンダーふるいちに掲載しているが、応募がない	●	町内会長、自治会長などに地域内で特技を持った者を紹介してもらう等「人と人の繋がり」により人材を確保する。 ・引き続き、カレンダーふるいちで募集する。		

活動方針	具体的な事業・活動名	H30	H30年度までの取組状況	H31・R1	H31年度取組	R2	令和2年度取組
公共施設の 利用促進	消防車庫の開放、古市集会所の活用、民間資産の活用（高齢者、子どもの活動場所・育児場所などの確保）						
	・福祉センターのオープンスペースの利用促進	＊	・子供の活動場所・育児場所などで活用しているが、一般や高齢者には解放されていない。	●	・高齢者の憩いの場や中須地区の一時避難場所として活用を検討する。 ・高齢者の憩いの場としての活用方法の検討や世話人の確保・育成が必要である。		検討中
	・高齢者の集まる場所（気楽に立ち寄れるところ）	＊	・旧幼稚園建物を市から無償で借受け地域の会議やサークル活動に利用しているが、利用者が少ない。（PR不足か）	＊	・利用者のアンケートにより、不備な点については対応した。利益を目的とした利用は禁止した。 ・旧幼稚園のPRチラシを町内会で回覧し、利用者の増に繋げる。採算は取れている。		古市集会所の耐震工事の不調の間、使用回数が増加 ミーティングルーム古市の利用推進
町内 愛称の 募集 道路 の	・町内の主要道路の愛称募集	☂	愛称をつける道路など具体的な案を示す必要がある。	＊	・6年生児童による「総合的な学習」で地域の状況を知る一環として、地域の問題点を考える。 ・愛称をつける道路等具体的な案を児童に示す必要がある。		取り止め
け町 地内 図会 づの く色 り分	学区と町内会が一致していない為、町内会の境界が解りにくい 町内会の規模に格差があり活動が困難となり、小規模の町内会ではボランティアも集まりにくい為、再編成を考えなくてはならない。 再編成（案） 上古市、中古市、下古市、古川、古市橋、中須、小瀬	☂	次の課題があり、再編成が進んでいない、再編成を示す必要がある。 地域の行事など活動状況がまちまちである。（活動が全くない町内会がある） 町内会費や繰越金の調整が必要である。町内会費など役員の確保に苦慮している。	☂	古市学区と古市連合町内会の区別が区分がわかりにくい。 連合町内会で対応する。 現状維持 小瀬の場所と範囲がわかりにくい。		現状維持 民生委員区割り図 特に問題なし